

## 2018年版のATテキスト修正箇所

### ○第2巻 運動器の解剖と機能

・P92 表Ⅱ-D-1 右下段

(訂正前) 短頭：下殿神経

長頭：坐骨神経

(訂正後) 短頭：総腓骨神経

長頭：脛骨神経

### ○第3巻 スポーツ外傷・障害の基礎知識

・P154 e.外反母趾 1) 病態 2行目

(訂正前) 第1中足骨の外転と基節骨の内転が基本変形で、第1中足骨頭の内側の突出部分をバニオンと呼ぶ(図Ⅲ-D-139)。

(訂正後) 足部の中心を基準軸とした際に第1中足骨の外転と基節骨の内転が基本変形で、第1中足骨頭の内側の突出部分をバニオンと呼ぶ(図Ⅲ-D-139)。

### ○第5巻 検査・測定と評価

・P28 右側 6) 外反母趾 1行目

(訂正前) 母趾の中足趾節関節部分で基節骨が外転・内旋し第1趾が外反した状態をいう。

(訂正後) 体軸を基準軸とした際に母趾の中足趾節関節部分で基節骨が外転・内旋し第1趾が外反した状態をいう。

### ○第6巻 予防とコンディショニング

・P17～19 「b. ウェア」の改稿

・P214～253 「2. テーピング」の改稿

※上記変更については「アスレティックトレーナーテキスト修正箇所のご案内」差し替えページ(2018年度版)にてご確認ください。